

WOOD STRAW PROJECT

ウッドストロープロジェクト

ウッドストロープロジェクトは、平成30年7月豪雨をきっかけに環境ジャーナリストの竹田有里さんが発案し、アキュラホームグループとザ・キャピトルホテル東急が賛同して始動した「木のストロー」製品化プロジェクトです。



カンナ社長

STORY なぜ、木のストロー？



森林は、木材になるだけでなく、水源の確保、自然災害の防止、地球温暖化防止などの多面的機能を有しています。平成30年豪雨(西日本豪雨)では各地で大規模な土砂災害が起き、甚大な被害がもたらされましたが、土砂災害が発生した要因の一つには、間伐などの適時適切な森林管理が行われていないことが挙げられています。間伐材は、細く未成熟であるため用途が限られることや、安価な輸入木材が多く出回ることによって、需要が激減しています。アキュラホームグループは、木の住まいを提供する会社として、木にまつわる環境問題に着目してきました。「木のストロー」を開発し広めることで、木材の活用を促進し、持続的な森林保全の一助となれればと考えています。

News

世界初の木製ストロー「AQURAS(アキュラス)」が

2019年6月に軽井沢で開催された、
G20環境・エネルギー関係閣僚会合で導入されました！



木製ストロー「AQURAS」

AQURASは、間伐材を含む国産材を薄くスライスし、ストロー状に巻き上げたものです。この手法によるストローの開発や量産化は、世界初の取り組みです！木製ストローを広めることで、環境について考えるきっかけになればと考えています。



●木のストローの効果

- プラスチックストローの削減
- 間伐材含む国産材の活用促進
- 減災に寄与



●木のストローの特徴

- 長さ・太さ・樹種変更が可能
- 木ならではの高級感
- 五感で楽しむ ○軽い



●今後の展開

- 障がい者、シルバー人材雇用への発展、自立支援
- 環境循環型に向けて検討
- 住宅の廃材利用の検討 ○地産地消